

安全なシュノーケリング方法

1. ダイブショップでは、シュノーケリングの監督者やチームの指示に従い、不明な点は質問してください。
2. シュノーケリングを行うスポットの環境に充分注意してください。船が航行する場所を確認してください。風や潮の流れの強さや向きに常に気をつけてください。
3. 安全のため、「**注意—入水禁止**」のサインが灯台、コーラルガーデンの入り口付近にある場合はサインに必ず従ってください。
4. 安全にお楽しみいただくために必ずバディ・システムを使ってバディと一緒にシュノーケリングを行ってください。バディとは常時、身体1つか2つ分以内の距離を保つようにしてください。
5. シュノーケリング監督者や他のシュノーケリングダイバーとハンドサインでのコミュニケーションの取り方を身に付けてください。下記の**安全サイン**を理解して覚えてください。



- **OKサイン**—以下の方法で「O」サインを示してください。

- 頭上で両腕を繋いで「O」サイン示す。
- 片手を頭にのせて「O」サインを示す。
- 親指と人差し指で「O」サインを示す。

- **ホイッスルを吹くかホーンを使う**—監視中のスタッフの指示に従ってください。



- **緊急サイン**

- 片腕、あるいは両腕を振ってください。

1. 心臓疾患、肺疾患に関する持病がある場合は、島でのオリエンテーション時にスタッフに、またダイブショップのチームにお知らせください。
2. 必ず浮力補助具を使ってシュノーケリングを行ってください。ウエットスーツ、救命胴衣、プールヌードルなどです。浮力補助具はお客様お1人ずつお渡しいたします。浮力補助具を使用すると過剰な体力の消耗を防ぎ、リラックスでき、顔を水上に保てるのでシュノーケリングを充分に楽しんでいただけます。
3. プラットフォーム、ボートの側や浅瀬でシュノーケリングを練習してから、もっと沖に出てください。泳げない場合、あるいはシュノーケリングをしたことがない場合、**あるいは何か不明なことがあれば**、水に入る前にツアーガイドに必ずお知らせください。
4. シュノーケリングの際はご自分の限界に留意してください。
5. お酒に酔った状態でシュノーケリングは絶対に行わないでください。その日最後のシュノーケリングが終了するまでアルコール飲料はお控えください。
6. ガイドツアー中に素潜りをする場合は、必ずシュノーケリング監督者か、ダイブショップのスタッフにお知らせください。
7. 監督者がいない状態でシュノーケリングを行う場合、**島の西側はハイリスク区域**となります。潮流などの予測不能な海や天候の状況のため、**必ずバディとペアでシュノーケリングを行ってください。**

重要なお知らせ

海岸線は LEIER スタッフがパトロールしていません。監視員を付けずにシュノーケリングをする場合、安全のために必ずダイブショップのスタッフに海や潮の状況を確認してください。必ずバディとペアでシュノーケリングを行い安全に充分注意してください。

シュノーケリング経験者の方は

呼吸停止ダイブや素潜り（水中で息を止めるダイブ）を行う場合は、重大な怪我、意識喪失、死亡に至る可能性のある「**低酸素ブラックアウト**」に陥る危険性が非常に高まります。低酸素ブラックアウトは、下に潜る前に過呼吸をするとその危険性が大幅に高まります。必ずバディとペアでシュノーケリングを行ってください。

